



技術情報

岡山県工業技術センター

2018年 No. 501

岡山県工業技術センターは、創立100周年を迎えました。

岡山県工業技術センターの前身である岡山県工業試験場が、大正7(1918)年に地元産業の育成・支援と技術向上を目的として設立され、分析、化学、染織、図案の4分野で業務を開始しました。

そして今年、平成30(2018)年、岡山県工業技術センターは創立100周年を迎え、記念式典を開催しました。

創立100周年記念式典

11月6日(火)午後、県議会議員、中国経済産業局、(国研)産業技術総合研究所、業界団体、大学関係、企業等から118名のご出席を賜り、テクノサポート岡山大会議室で創立100周年記念式典を開催しました。伊原木県知事による開会挨拶の後、中国経済産業局地域経済部次長 松井 眞一 氏と岡山県議会副議長 波多 洋治 議員より来賓挨拶をいただきました。



その後、岡山県工業技術センターの「100年のあゆみ」を紹介しました。国立研究開発法人 産業技術総合研究所 理事長 中鉢 良治 氏より、「未来を拓く科学技術と地方創生」を演題に記念講演をいただきました。多くの出席者の皆様のために中会議室にも式典の映像を中継しました。

研究成果の展示

これまでの研究成果について、テクノサポート岡山中会議室を会場として展示を行いました。中会議室には、企業との共同研究により生まれた55件の成果品を展示し、来訪者に各担当者が展示物の説明を行いました。

併せて岡山県工業技術センターの「100年のあゆみ」を紹介したポスター展示をしました。展示会場以外にも成果品をおさめたショーケース8台を式典会場前のホールに展示し、紹介資料の配布とともに、展示物についての説明を行いました。



所内見学会

所内見学会を式典後に行い、67名の参加がありました。電子顕微鏡室、精密測定室、無響室、電波暗室のそれぞれの設備を紹介するとともに、本館1階の主要設備について装置あるいは機器紹介パネルで説明を行いました。



岡山県工業技術センターの 100 年

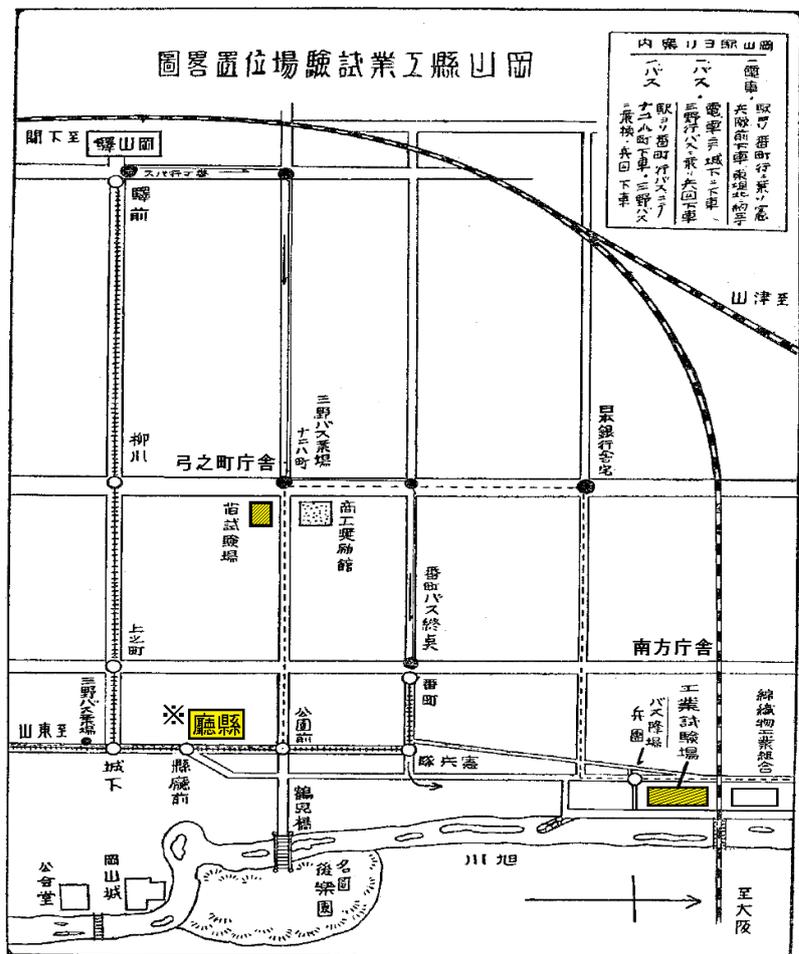
当センターの原点は、明治33(1900)年に、岡山県庁に採用された1名の製紙技術者です。その技術者が県内を巡り、製紙技術向上のために指導を行いました。その後、染織、分析、化学、図案(デザイン)と対応する技術分野と人員を徐々に増やしていきました。

そして、第一次大戦後の好景気により県内の商工業が活況となり、地元産業界からの要望にも応え、大正7(1918)年4月1日に岡山県工業試験場を設立し、同年12月12日より弓之町に新築された庁舎で本格的な業務を開始しました。また、当時の急激な工業の進展と利用者の増加により、施設の拡充が求められたことから南方に新庁舎の建設を進め、大正13(1924)年4月に移転しました。

その後、い製品指導所、窯業指導所、繊維指導所、機械金属部庁舎等を開設し、時代の変化に合わせて組織の新設や統廃合を行ってきました。そして、平成7(1995)年に、すべての機能を集約した新庁舎を岡山市北区芳賀(岡山リサーチパーク内)に新築移転し、現在に至っています。

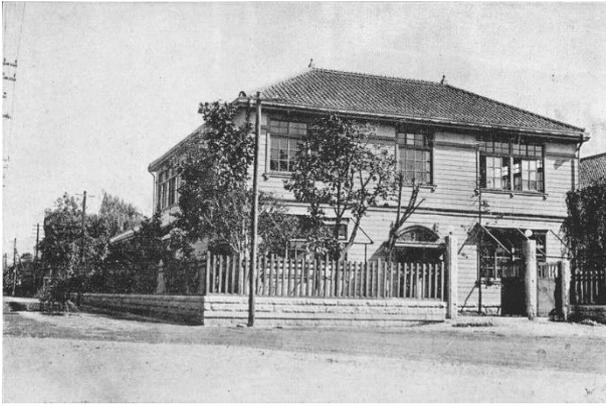
初期の試験場地図

岡山県工業試験場要覧[昭和10(1935)年3月発行]

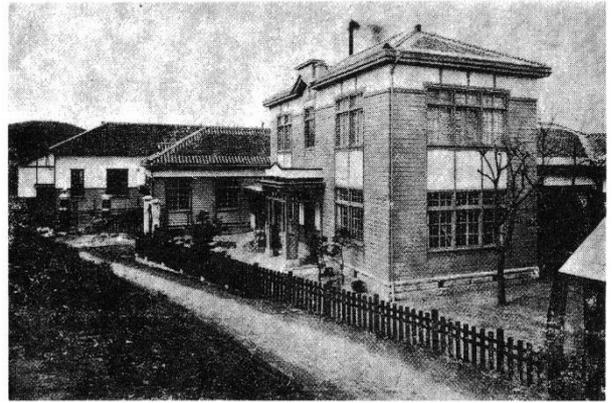


※岡山県庁 商工課工業試験室(天神山文化プラザ付近)
 明治33(1900)年～大正6(1917)年
 県庁内の一部署として地元企業の技術指導業務を行う。

本庁舎の変遷



岡山県工業試験場 弓之町庁舎
(備前県民局付近)
大正 7(1918)年 ~ 大正 12(1923)年



岡山県工業試験場 南方庁舎
(看護会館付近)
大正 13(1924)年 ~ 昭和 35(1960)年

岡山県工業試験場 伊福庁舎
(岡山工業高校付近)
昭和 36(1961)年 ~ 昭和 50(1975)年
昭和 51年に機構改革により名称を
岡山県工業技術センターに変更
昭和 51(1976)年 ~ 平成 6(1994)年



岡山県工業技術センター(岡山リサーチパーク) 平成 7(1995)年 ~ 現在

平成 30 年度導入機器

マイクロ波加熱分解装置

今年度、公益財団法人JKA (<http://www.keirin-autorace.or.jp>) の以下の補助事業により、新たに導入したマイクロ波加熱分解装置を紹介します。

機械振興補助事業「公設工業試験研究所等における機械設備拡充補助事業」
(<https://hojo.keirin-autorace.or.jp/about/list/kikai/h30/index.html>)

この機器は、企業等の方々に広く開放していますので御利用ください。利用方法等については、担当部署まで、お気軽にお問い合わせください。



型式	MARS6
製造所	CEM Japan(株)
設置年度	平成30年度
担当部署	機能材料科
設置場所	化学分析室(本館4階)

概要

本装置は、固体試料（金属、セラミックス、高分子材料、各種粉体等）をマイクロ波加熱により、高温・高圧下で溶液化することができます。密閉した容器内で溶解させるため、コンタミネーションがなく、微量分析用の溶液試料を作製することができます。

仕様

- マイクロ波最大出力：1800 W
- 加熱可能温度：300 °C
- 容器容量：110 ml
- 処理本数：最大12本

技術情報 No.501 平成 30 年 12 月発行

編集／岡山県工業技術センター
研究企画部 企画推進科

●お願い

この技術情報誌は、技術担当部門に回覧して下さい。

記載内容について詳しくお知りになりたいときは、右記へご照会下さい。

発行／岡山県工業技術センター

〒701-1296 岡山県岡山市北区芳賀 5301

TEL (086)286-9600(代)

FAX (086)286-9630

<http://www.pref.okayama.jp/sangyo/kougi/>